

# わか草



第80号 令和8年10月15日  
発行 東京都立東部療育センター  
広報委員会  
東京都江東区新砂3-3-25

## 花火を楽しむ夕べ

今年度の花火を楽しむ夕べは10月2日に第1回目を開催しました。昨年度と違い、通所と病棟から数名ずつ利用者さまが集まり、一緒に花火を鑑賞されました。

天気予報を気にしながら、一時は台風の前報に不安の日々でしたが、無事にこの日を迎えることが出来ました。

今年度はドラゴン花火の数を増やし、花火はドラゴン花火、打ち上げ花火、連発花火、仕掛け花火の4種類です。花火師が間髪を入れずに100個以上のドラゴン花火を上げると、鑑賞している方々から歓声が上がりました。鑑賞し



東部療育センターと打ち上げ花火

ている利用者さまは、病棟ごとにそれぞれ創作活動などで作成した作品を車椅子にぶら下げ、色とりどりの風鈴などが風に揺れて涼しげな音を鳴らしていました。花火の音と風鈴の音のコーラレーションも、この行事ならではの醍醐味と言えます。そのような面でも良い思い出になったのではないのでしょうか。利用者さま方は、花火が空高く上がる様子を光や音の刺激として受け取り、豊かな表情を見せてくださいました。煙の匂いなども感覚刺激のひとつとして、行事の思い出と一緒に記憶の片隅に残してくださっていると幸いです。

保護者の皆様には今年もたいくさん集まって頂き、感謝申し上げます。

(2階南病棟)

## 外出企画行事

病棟では、5月中旬から7月初旬にかけて外出企画行事として、日本科学未来館へ外出しました。日本科学未来館は、「未来は、かなえるものへ！」をスローガンに、地球とつながるをテーマにしたシンボルゾーン、未来をつくる・世界をさぐるをテーマにした常設展示ゾーンや映像シアターがある施設です。行きのバスでは、パンフレットを見ながら、どのゾーンを見学しようかと相談したり、車窓からの景色を楽しんだりしました。到着後はシンボルゾーンにある大きな地球を頭上に記念撮影！その後、病棟ごとにそれぞれのゾーンを見学しました。

「Sky空の旅」では大きな部屋いっぱい空の映像が映し出され、まるで雲の中にいるような迫力で、皆から感嘆の声や溜息が聞かれました。展示コーナーではロボットに手を振ったり、クイズに答えたり思い思いに見学しました。7月は「大南極展」が開催されており、ペンギンやアザラシを見たり、ブリザードの風を浴びたりと貴重な体験ができました。最後にショップでお土産を選んで皆さんのうれしそうな笑顔が見られました。これからも皆さんがワクワクドキドキするような体験ができる外出を企画していきたいと思ひます。お楽しみに！

(2階西病棟)



## 生活支援科長 就任のご挨拶

令和8年4月1日付で生活支援科長として着任いたしました。阿部珠美と申します。前職では東京都立病院の4つの施設で看護師として勤務し、十数年にわたり管理職として従事してまいりました。このたびは縁があり、東部療育センターで勤務することになりました。

当センターはとてもアットホームな雰囲気、様々な職種が協働しながら入所者・利用者さま、そしてご家族に丁寧に関わっている姿が印象的でした。職員一人ひとりが利用者さまの思いに寄り添い、生活を支援し、より良い療育の提供に努めている姿を日々感じています。また、多くの行事や活動が実施されており、その創造性とアイデアには驚かされるばかりです。先日開催された東部フェスも大盛況のうちに終わることができ、利用者さまの生活に彩りを添えるお手伝いができたのではないかと感じております。

まだまだ微力ではありますが、皆様と共に力を合わせ、より良い療育の実現に向けて努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 総合防災訓練

当センターでは、利用者の皆さまが安心して過ごせる環境を守るため、日頃から防災への取り組みを続けています。災害はいつ起こるか分からないからこそ、日常の備えと訓練の積み重ねが、利用者の皆さまの安全につながることを考えています。

今年も、地震・火災・津波など複数の状況を想定した総合防災訓練を実施しました。職員は、避難経路の確認や役割分担の見直しを行い、実際の災害をイメージしながら行動すること、いざという時に落ち着いて対応できる力を養っています。



災害対策本部の様子



発電機使用の様子



外来・通所からの上階避難の様子



特に今年は、想定外の事態にも柔軟に対応できるよう、事前の情報をあえて限定した「シナリオなし」での訓練にも取り組みました。実際の災害では予測できない状況が起こり得るため、職員一人ひとりが状況判断を行いながら安全を確認する訓練は、非常に貴重な機会となりました。



プレイルームへ上階避難

防災は一度で完成するものではありません。これからも訓練の振り返りや備蓄の見直しを重ね、ご家族や関係者の皆さまに「安心して任せられる施設」であり続けられるよう、職員一同取り組んでまいります。

(防災担当 事務室)

## 永年勤続表彰・認定証授与式

令和8年7月22日、当センターにおいて日本重症心身障害福祉協会の永年勤続表彰を行いました。今年度は、4名の職員が勤続10年を迎え表彰されました。院長からは、長年にわたり現場を支えてきた専門スタッフとして、今後のさらなる活躍を期待するとの言葉が贈られました。



(事務室)



院長、副院長、事務長と表彰された皆さん

また、1名の看護師が「重症心身障害看護師」の認定を受け、認定証が授与されました。今後は、専門性を生かし、重症心身障害児者への看護の質の向上や後進の育成などでの活躍が期待されます。

## 特定行為研修の協力施設と 看護師による特定行為の実施

東部療育センターは今年度から看護師の特定行為研修の協力施設となりました。特定行為研修とは医師があらかじめ作成した手順書に基づき、高度で専門的な医療行為を実践するための知識・技術を学ぶ厚生労働省が定める研修です。当センターでは講義・演習で実践的な理解力、思考力及び判断並びに高度かつ専門的な知識・技能を習得した研修生が医師の指導の下、気管カニューレの交換の実習をしています。今年度は3名の実習生を受け入れました。看護師が手順書に基づき特定行為を実施することで利用者さまの生活パターンに合わせることが出来ます。

(療育部事務室)

## お知らせ

10月1日より1階総合受付及び地域療育支援室の土曜日受付を以下のとおり変更いたしました。皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解賜りますようお願いいたします。

(変更前)  
第1・3土曜日(祝日は除く)  
8時30分～12時30分  
←  
(変更後)  
第1土曜日(祝日は除く)  
8時30分～12時30分

## 活動紹介

今年度は1年間、リハビリテーション科が担当し、活動紹介をしていきます。

理学療法部門について紹介します。

当センターに勤務する理学療法士は常勤6人です。入所・通所・外来の利用者さまをそれぞれのセラピストが担当し、理学療法を行っています。内容は個々の利用者さまによって異なりますが、身体が硬くならないように運動をすることや座ること、移動するための練習などを行っています。

来や複数病棟の利用者さまとも交流できるようにになりました。久しぶりに理学療法室で顔を合わせて一緒にリハビリテーションに取り組みんでいます。利用者さまの顔をじっと見たり、普段会わないセラピストを目で追ったりと、覚醒や反応が良いことなど、病棟内でリハビリテーションを実施していた時とは違う利用者さまの反応を感じることができています。以前のようないびきや返ってきませんでした。運動機能、呼吸状態、変形、拘縮などに配慮しながら、日常生活の姿勢の検討や車椅子などの補装具の作製にも関わっています。



理学療法室での様子



車椅子点検

写真につきましては、全て掲載の許可をいただいております。

## ウクライナ政府関係者・ 医師団が当センターを視察

7月17日(金)、ウクライナ政府関係者・医師団10名と同行者8名、計18名の皆様が当センターを視察されました。

倉田理事長、伊藤院長による挨拶・当センターの概要説明に続き、施設紹介DVDをご覧いただいた後、病棟、通所、外来、リハビリテーション科を見学されました。

見学後の意見交換では、地域での生活を支える支援体制や多職種連携、人材育成などについて活発な意見交換が行われました。日本とウクライナ、それぞれの医療・福祉制度や支援の仕組みについて

(事務長)

## 東部あれこれ

夏から秋のセンターの動きです。

今年は秋雨前線が本州付近に停滞する日が多く、相次ぐ台風の影響も加わって、8月下旬から記録的な長雨が續いています。また、例年より早く、インフルエンザの流行シーズンに入りました。今回の流行入りは、感染症法が施行された1999年以降では、2009年に次いで二番目に早いそうです。予防には「手洗い」「マスクの着用を含む咳エチケット」などが有効です。感染症対策へのご協力をお願いいたします。



(事務長)

【7月】  
武蔵野大学と東京科学大学の看護実習生を受け入れました。

7月から多職種スタッフによる骨折ラウンドを開始しました。これから月1回実施予定です。

【8月】

文京学院大学と武蔵野大学の看護実習生を受け入れました。看護学生のインターンシップを行い、6名の参加がありました。

【9月】  
センター全体での総合防災訓練を行いました。

日本大学医学部学生の重症心身障害児療育体験実習を受け入れました。アトラクションボランティアが各病棟・通所を回り、ピアノと歌でジャズを披露してくださいました。

## 編集後記

暑かった夏もようやく終わりましたが、雨の多い秋の始まりとなりました。残りの花火大会もお天気に恵まれ、皆さんときれいな花火と一緒に見られることを楽しみにしています。

(広報委員会事務局)



←これまでのわか草  
をご覧になりたい方は  
こちらからどうぞ

## 選ぶ おやつの日

今年度は1年間、栄養料が担当し、行事食やおやつを紹介していきます。

栄養料では年に2回、

水曜日のおやつをあらかじめ利用者さまに4〜5つの候補から選んで頂く「選ぶおやつの日」を実施しています。

候補は①鳴門金時のショートケーキ②プリンケーキ③あまおう苺のフロマージュ④とちあいか苺のモンブラン⑤キャラメルケーキです。

おやつを選ぶ際は、写真を見ると目を輝かせ、発声や指さし、笑顔などで教えてくださいます。

上手な食事介助もあって、皆さんペロリと召し上がっていました。

(栄養料)



キャラメルケーキ



とちあいか苺の  
モンブラン



あまおう苺の  
フロマージュ



プリンケーキ



鳴門金時の  
ショートケーキ